

滋賀県精神保健福祉協会だより

「ふるさとをくれたよ」に参加して

対談ステージ



七月五日（日）、大津市民会館に於いて開催された「こころの健康フェスタ2009」に参加しました。

今年、映画「ふるさとをくれたよ」上映と映画に出演した女優烏丸せつこさんのトークショーをメインに開催され、はじめに、平成二十一年度滋賀県精神保健福祉協会会長賞と滋賀県知事賞の表彰式が行われました。



知事あいさつ

滋賀県に於いて、精神保健福祉に功のあった団体・個人の方が受賞されました。その功績をたたえ、なお一層のご奮闘をお願いするという意味を込めて、拍手を送りました。

会長賞表彰



つづいて、映画「ふるさとをくれたよ」が上映されました。

十五年前の人気ドラマ「ひとつ屋根の下」で、小梅役を演じた大路恵美さんが主演で、滋賀県大津市出身の烏丸せつこさんがそのお母さん役で出演していることに興味を持ったのが「こころの健康フェスタ」に行ってみようと思ったきっかけでした。

物語は、主人公が県庁の職員に採用されて帰郷するところから始まります。ふるさとでは、精神障害者の作業所ができていて、この作業所に対して住民の反対運動が起き、主人公の父親は反対運動の代表の一人。反対運動と作業所との間で、主人公がいろいろな体験をしながら物語が繰り広げられていきます。

現在、統合失調症と呼ばれるようになった病気に対する差別や偏見が、二十世紀の日本でまだ根深く存在することを知ってほしい、又正しい知識を持って病気になった人を理解して欲しいというのが、この物語のテーマだと思うのですが、もうひとつ私に教えてくれたことがあります。

「反対派が「自分達の街を守りたい！何かあったら、どうしてくれるんだ！」とさげふ場面がありました。物語の中心だけでなく、「何かあったら、どうしてくれる」という反対の仕方は、いつも腹立たしかったし、どのように説得したらいいのか分からなくて悲しかった。

「なるほど、おっしゃる通りです。貴方がたのおっしゃることはよく分かります。貴方がたの大切な、愛するふるさとを、少しでもいいんです、少しでも私たちに分けて下さい。」

藤田三子扮する作業所所長の台詞に、思わず涙が溢れました。

これこそまさしく、この映画の題名「ふるさとをください」でした。正しいことを振りかざすだけでは、ひとの心には入っていけない。相手の考えも理解し認めてはじめて、分かり合えるものなのだと思います。大袈裟ですが「目からうろこ」でした。来てよかった。この時、客席のあちらこちらからすすり泣きが聞こえていました。

休憩をはさみ、先ほどまでスクリーンの中におられた烏丸せつこさんが、涼しげな和服姿で登場され、山田氏（滋賀県精神保健福祉協会会長）と脇坂氏（日本精神科看護技術協会滋賀県支部長）が盛んに眩しがっておられたのが、とても可愛く微笑ましく思いました。四十分間にわたるトークショーは烏



丸せつこさんのオーラに圧倒されながら、烏丸さん自身のふるさと、滋賀への思い、映画撮影のこと、精神障害者に関する偏見や

誤解をなくすにはどうすべきかなどのお話があり、映画「ふるさとをください」がこれからも地道に市民の手で上映され、全国に広がってほしいなあ、という思いを会場の皆で共有しながら、あっという間に過ぎていきました。

つづいて漫才コンビ「メンズサタデーズ」が登場し、普段は精神保健福祉士として仕事に取り組んでおられる方たちだという紹介のあと、自殺予防という難しいネタを笑いに包んでサタデーズワールドが展開されました。

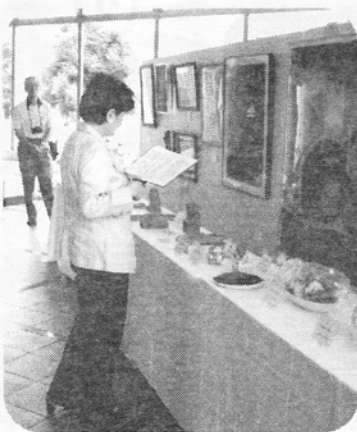
最後に、「滋賀いのちの電話」理事長の大川氏より、「滋賀いのちの電話」

の紹介があり改めて、日本では毎年三万件以上の自殺があるが「自殺は予防できる」こと、社会全体で努力すれば減らせることをお聞きしました。

その他、ロビーでは、作品展や関係団体の活動を紹介するコーナーなどがあり、盛りだくさんの一日でした。来年もまた新たな発見、気付きのあるフェスタに期待して、ぜひ参加したいと思います。

大津市 伊藤一美

メンズサタデーズ



作品展 (楽々展)

第十三回総会報告

平成二十一年七月五日(こころの健康フェスタ2009)に先立ち、午前十時から大津市民会館において、第十三回総会が開催されました。

山田会長の挨拶に引き続き、議長に辻本哲士氏(滋賀県立精神保健福祉センター所長)が選出されました。議事として理事

会報告、平成二十年度事業報告、決算報告、平成二十一年度事業計画・予算について、続いて平

成二十一年度の活動方針(案)について討議がおこなわれ、原案どおり承認されました。

また、協会事業への提案や総会の日程についての意見をメールやFAXで募ることもっと積極的に会員を勧誘していくこと、などが決りました。

(報告:事務局 塚田結子)

平成21年度事業計画(年間開催予定)

1. 啓発・普及

- 精神保健福祉啓発事業
 - ▶「つどい(フェスタ)」の開催……………1回
- 会報誌・パンフレット等の発行、ホームページの運営・管理
 - ▶啓発資材作成、配布……………1~2回
 - ▶会報誌の作成、配布……………3回
 - ▶情報提供……………随時

2. 研修・調査研究

- 研修会の開催
 - ▶こころの健康講座……………1回
 - ▶勉強会の開催(調査研究部会担当)……………随時
 - ▶アンチプレジューディス(反偏見)に関する研修会の共催……………1回

3. 団体育成

- 関係団体の支援、育成
 - ▶患者会、家族会、断酒会、ボランティア団体等の活動支援……………随時

会員の皆様のご意見ご提案、情報など、ぜひ事務局(FAX:077-567-5250、Email:smental@ex.biwa.ne.jp)までお寄せください。

アデイクションフォーラムを終えて さまざまなる自助グループの連携

滋賀県立精神保健福祉センター 精神保健福祉士

西田由美

七月十九日に行われたアデイクション(依存症)フォーラムに、滋賀も今年度で二回目となりました。昨年はこのフォーラムでたくさんの方の体験発表に影響を受け、新しい自助グループも立ち上がりました。今年も滋賀のアデイクションのいい刺激になればという思いから開催することになりました。昨年に引き続き、今年度もさまざまな仲間からの体験談や講演があり、たくさんの方に来ていただき好評のうちに幕を閉じました。今回は先ゆく仲間の体験談と、講演はアルコール依存症でもあり、よしもと新喜劇の座長でもあった故岡八朗氏の長女、ゴスペル歌手の市岡裕子氏に来ていただきました。依存症家族としての体験談やまた自分の人生についてのゴスペルなどの話をしてくださり最後はゴスペルを一曲プレゼントがありました。

また今年もたくさんの方がアンケートに協力してくださいました。ありがとうございます。そのアンケートの内容を少し紹介させていただきます。先ゆく仲間の体験発表は「病気は違っても共感できることがたくさん聞けた」「自分一人ではない、仲間がいることで気分が楽になった」「今後も開催してほしい」という意見をたくさんいただきました。また市岡氏の講演については「勇気づけられた」「力強い話に感動した」「元気をもらった」という感想をたくさんいただきました。



ゴスペル歌手 市岡裕子氏
(アルコール依存症と戦った岡八郎氏の娘さん)

このアデイクションフォーラムの特徴は自助グループ間の連携と協働にあると思います。このフォーラムは精神保健福祉センター主導で行っているものではなく、さまざまな自助グループの仲間が集まり実行委員会を作って運営しています。立場は様々で、依存の対象もまちまちです。またそれぞれのグループの特徴や立場もありますが、みんなそれを理解し合い、同じ立場で実行委員としてフォーラムを成功させています。今年度の実行委員会は年明けの一月から始まり、月に一回程度のペースで行ってきました。現在の実行委員のメンバーは十二名です。私もメンバーの一員として楽しく参加させていただいています。昨年度はフォーラムまでの時間が少なく駆け足で準備を進めましたが、今年度はゆっくりと話し合いの時間を持ちながら納得のいく形でフォーラムに臨むことができました。今年で二回目の開催となりました。今年で二回目の開催となりますが振り返ってみると行政主導ではなく横のつながりで成り立っているこのフォーラムは回を重ねるごとにいいものになっていくと感じました。

アデイクションフォーラムは二年目でまだまだ手探りでやっている状態です。駆け出しで危なっかしいフォーラム(実行委員会)ですが今後も皆様の力をおかりして成長していきたいと思っております。今後ともご協力をよろしく願います。

伝言板

第15回SST経験交流ワークショップin奈良

「まほろばの奈良の都で温故知新」 ～しかと学ぶ新しきSST～

日時…平成21年9月19日(土)～20日(日)
場所…奈良県文化会館等(近鉄奈良駅徒歩5分)
会長講演…西園昌久(SST普及協会会長)
演題…「SSTと関係性の回復・進歩」
主催…SST普及協会近畿支部(<http://www.pac.ne.jp/sst15/>)
問合せ…ワークショップ事務局 TEL 078-332-2505

日本笑い学会・笑ってメンタルヘルス滋賀支部 第8回総会と講演会

日時…平成21年10月10日(土) 14:00～17:00
場所…地域生活支援センターまな 2階
(JR南彦根駅西口徒歩5分) TEL 0749-21-2192
講師…織田正吉氏(作家・日本笑い学会副会長)
講演…「暮らしの中のユーモア」
パフォーマンス…濃才、大喜利など
参加費…300円(会員は無料)

こころの会 主催 「滋賀の医療福祉を考える出前講座」

(参加無料・要申込み)

日時…平成21年11月8日(日) 13:00～15:00
場所…県立男女共同参画センター研修室B
(JR近江八幡駅南口 徒歩10分)
問合せ…滋賀県精神障害者患者会「こころの会」 吉澤康雄
TEL/FAX 0748-52-4255 (この会は患者会です)

こころの会 例会

「ひとりぼっちをなくそう」をスローガンにがんばっています。あつまって話しましょう。

日時…平成21年10月4日(日) 13:00～15:00
場所…県立男女共同参画センター研修室B
(JR近江八幡駅南口 徒歩10分)
内容…うつ病、統合失調症、神経症、そううつ病などを対象としています。
申込み…滋賀県精神障害者患者会「こころの会」 吉澤康雄
TEL/FAX 0748-52-4255 (この会は患者会です)

甲賀地域精神障害者家族会「のぞみ会」 (社)甲賀・湖南人権センター 甲賀市社会福祉協議会主催 第9回精神保健福祉講座

「精神障がいのある人の回復力を高める接し方」
(参加無料・要申込み)

日時…平成21年10月13日(火) 13:30～16:30(受付13時～)
場所…滋賀県甲賀合同庁舎 4A会議室(旧甲賀県事務所)
講師…高森信子先生(生活技能訓練リーダー)
問合せ…(社)甲賀・湖南人権センター(あすばる甲賀)
TEL 0748-65-4020

報道と精神障害を考えるシンポジウムⅢ 「共感できる報道は可能か」(仮題)

日時…平成22年1月予定
場所…龍谷大学瀬田キャンパス
シンポジスト… 小黒 純氏(龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科准教授)
橋本 明氏(愛知県立大学文学部社会学部社会学科教授)
岡本 峰子氏(朝日新聞東京本社論説委員)
辻 元宏氏(滋賀県立精神医療センター病院長)
井上カズ子氏(滋賀県精神障害者家族会連合会「鳩の会」理事)

*本年度は龍谷大学共生社会研究センター主催、滋賀県立精神保健福祉センター、滋賀県精神保健福祉協会、滋賀県精神障害者家族会連合会後援で開催の予定です。

編集後記

◆例年より比較的涼しい夏でした。近くの農家の方から、西瓜を届けていただきましたが、今年ではできが悪いと嘆いておられました。低温と日照不足の影響で、全国的な米の作況指数はやや悪いと予想されていますが、滋賀県は幸いなことに平年並みらしいです。

◆一方、新型インフルエンザが不気味です。8月16日までの1週間にインフルエンザ定点報告数が目安の1.00を上回ったため、流行期に入ったと判断されました。8月の流行期入りは、異例のことです。滋賀県は沖縄、奈良に次いで3番目に多くなっています。これまでの例から推測すると、今回の新型インフルエンザの発症ピークは10月上旬で、1日当たり約76万人の患者が発生し、全国の入院患者は最大時で4.6万人に上る可能性があるとのこと。手洗い、うがいなど一人ひとりが感染予防を心がけることが必要です。

◆それに雇用問題が深刻になっています。滋賀県でも多くの優良企業が派遣を打ち切るなどしています。7月の完全失業率は5.7%、有効求人倍率も0.42倍と、いずれも過去最悪となったそうです。近くのハローワークは、仕事を求める人で連日あふれています。

◆このような状況で、7月21日に衆議院解散となり、当時国会に上程されていた多くの法案と共に、障害者自立支援法改正案も廃案となりました。この改正案には、応益負担から応能負担への転換や、相談支援体制の充実など、現在の枠組みの中でそれなりに考え抜かれた内容がありました。しかしそれも今は空しいものとなっています。8月30日投票までの、真夏の40日間に及ぶ長い選挙戦の結果、民主党の地滑り的圧勝となり、国民は政権交代を選択しました。今後は民主党を中心とした政権によって、障害福祉施策が行われていくこととなります。民主党のマニフェストには、国連障害者権利条約の批准、障がい者差別を禁止する法制度の構築、障害者自立支援法を廃止し、新たに障がい者総合福祉法を制定する、等があります。比較的理想論を並べたところがありますが、優先順位はどうなっているのか、財源はどうするのか、それらが今後どのように実現されていくのが注意深く見守っていく必要があると思います。(滋賀県精神神経科診療所協会 上ノ山)

会員数

平成21年8月10日現在

一般会員	個人会員	155名
	団体会員	36団体
賛助会員	個人会員	9名
	団体会員	9団体